

Wiki サイトの基本的な機能について

Wiki サイトは、インターネット上での共同作業を可能とするインターネットコラボレーションツールである。

Wiki サイトは、既存のインターネットブラウザ、例えば Internet Explorer などを利用することができ、ブラウザ上でマウスなどで操作することができるユーザーインターフェイスを持っている。この Wiki サイトのインターフェイスは、初歩的なパソコンやインターネットの知識さえあれば、特別な訓練や予備知識がなくても直感的に操作できるため、ユーザーライクなインターフェイスとすることができる。これらの要素が、Wiki サイトを容易に利用できる共同作業ツールにしているのである。

多くの Wiki サイトが実現している、コラボレーションツールとしての最大の特徴は、コンテンツの作成、閲覧、編集という基本的な機能の三つを全てのインターネットユーザーに許可しているということである。普通インターネット上のウェブサイトにおいては、ユーザーに許可されているのはコンテンツの閲覧だけであり、新規コンテンツの作成と内容の編集はサイト管理者のみに制限されている。それとは違い、Wiki サイトは自由な共同作業のために誰にでもコンテンツの作成と編集を許可している。しかもこれらの作業は前述したように、既存のインターネットブラウザのみで行うことができるのである。

基本的にユーザーは自由に、しかも容易に新規コンテンツを作成したり、既存のコンテンツの内容を編集したりすることができるのである。ここでいう既存のコンテンツとは、自分が作成したコンテンツだけでなく、他のユーザーが作成したコンテンツも含まれる。他のユー

ザーが作成したコンテンツを、内容が間違っていたり、内容に不足分があると思ったら、そのコンテンツの内容を誰でも修正することができるのである。このように共同作業で一種のデータベースともいえるウェブサイトを作ることができる Wiki サイトの性質は、まさしくコラボレーションツールといえるのである。

Wiki サイトのコンテンツの内容は、既存のウェブブラウザで閲覧することができるため、当然 HTML で構成されている。本来 HTML ファイルを作成するにはある程度 HTML の専門的な知識が必要なため、Wiki サイトの場合において、全てのインターネットユーザーがコンテンツを作成することが可能という特徴とは矛盾する。この矛盾点を解決するのが Wiki のマークアップ構文である。

ユーザーがコンテンツの内容を記述するときは、HTML ではなく、Wiki のマークアップ構文にしたがって記述するのである。この Wiki のマークアップ構文は HTML と違って、非常に簡単な仕様になっているので、誰にでもすぐに利用することができる。例えば文字列を強調する際には、`''文字列''`というような具合に、強調したい文字列を`''`で囲むだけである。新しいコンテンツを作成するときには、コンテンツにタイトルをつけて、内容にこのようなマークアップ構文を利用して記述することになる。作成されたコンテンツはテキストファイルとして保存されるが、そのテキストファイルは、Wiki によって適切な HTML ファイルに自動的に変換され、既存のインターネットブラウザで閲覧することができるようになる。また既存のコンテンツを編集する場合にも、HTML でなく、マークアップ構文の状態編集することができる。

Wiki サイトのマークアップ構文の中で、最も重要だと思われるのがリンクである。Wiki サイトのコンテンツの内容には多くの場合リンク

が存在する。これらは、他のサイトへのリンクだけでなく、同じ Wiki サイト内にある別のコンテンツへのリンクも存在する。Wiki サイトでは、これらのリンクもマークアップ構文により、簡単に作ることが可能となっている。例えば、同じ Wiki サイトの別のコンテンツへのリンクを作る場合、[[ABC]]と記述するだけで、ABC というタイトルを持つコンテンツへのリンクを作ることができる。このように Wiki サイトでは、同じ Wiki サイトの中の異なるコンテンツ間に簡単にリンクを張ることが可能で、コンテンツ同士が高度に関連しあったデータベースを作成することにも向いているのである。

このようなマークアップ構文と、ユーザーライクなインターフェースが、Wiki サイトでは全てのインターネットユーザーがコンテンツを作成、編集することができるという特徴を現実のものにしているのである。